

# みこころ



カトリック松山教会  
〒790-0003 松山市三番町四丁目5-5  
Tel.089-921-1849 FAX089-921-2109  
ピーター・ジャ・レ神父 O.P  
発行 広報活動委員会



## ロザリオの聖母 神への愛

カトリック教会は、10月をロザリオの聖母の月として捧げられているので、このみこころでは、ロザリオの聖母について少し分かち合いたいと思います。

10月は、カトリック教会において様々なことに捧げられる月です。

生命尊重月間であり、中絶をなくし、すべての人間の生命の尊厳が私たちの法律と心の中で守られるよう、特別な祈りを捧げます。



カトリック松山教会  
担当司祭  
ピーター・  
ジャ・レ神父 O.P

10月はまた、聖母への特別な献身の月でもあります。

10月には2つの重要なマリアの日があります。

10月13日は、ファティマの聖母の6回目の、そして、最後の出現の記念日であり、

1918年に何万人もの証人の前で、太陽の色を変えて空に舞った「太陽の奇跡」として知られている日です。

そして10月7日は、ロザリオの聖母の記念日でもあります。

この祝日は、1571年のレパントの戦いで、侵攻してきたトルコ艦隊に対するカトリックの海軍の勝利を記念するものです。

多勢に無勢であったにもかかわらず、小さなキリスト教艦隊が、はるかに大きなイスラム艦隊を返り討ちにしました。

教皇聖ピオ5世は、勝利のために祈られた多くのロザリオに応えた聖母の執り成しのおかげであるとなりました。

ミサそのものを除けば、ロザリオは間違いなく、カトリックの祈りの最も象徴的な形である。映画では、映画監督が「登場人物がカトリック信者であることを示したければ、ロザリオを手に持たせるだけでいい。」と言っています。

私たちカトリック信者にとって、10月はロザリオを祈ることによって聖母に近づくためのパワフルな時期です。

聖母は、私たちが信頼をもって聖母に近づくことを喜ばれるのです。

ロザリオの秘義は、イエスとその母の生涯の出来事に基づいています。



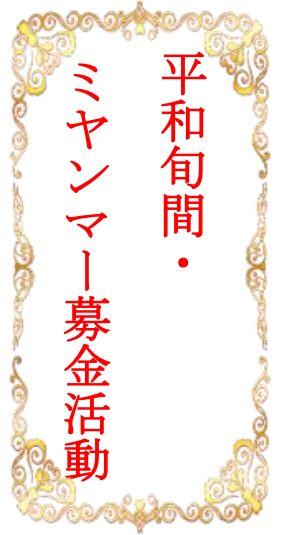
そして、ロザリオを祈ることは、あなたと私たちすべてを、これらの秘義に深く引き込むのです。

ロザリオを祈ることによって、私たちの信仰は強められ、悪に抵抗する助けとなり、霊的に成長する助けとなり、そして、最も重要なことは、私たちの母であるマリアとの関係を深める助けとなるのです。

ですから、私たちは皆、愛する母マリア、ロザリオの聖母に自らをゆだね、神の母を通して神への愛がますます深まるようにしましょう。

私たちの愛する神であり救い主である主が、私たちを滅ぼそうとする者たちから救い出してください、私たちの人生の試練を乗り越えて努力し、忍耐することができるよう、いつも私たち皆を強め、励ましてくださいますように。

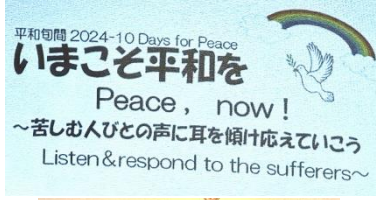
私たちの最も愛する母であるロザリオの聖母よ、今も、そして死の時も、私たち罪びとのために祈りたまえ。アーメン。



8月4日

いまこそ平和を

〜苦しむ人びとの声に耳を傾け応えていこう〜



平和旬間とは、1981年2月23日〜26日。教皇ヨハネ・パウロ二世は、「平和の使者」として日本を訪問し、多くの人々に喜びと希望を与えました。特に広島では、「過去を振り返ることは、将来に対する責任を担うことである」と言われ、日本国内外に平和のメッセージを発信しました。

戦争を振り返り、平和を思うとき、平和は単なる願望ではなく、**具体的な行動でなければなりません。**そこで、日本のカトリック教会は、その翌年（1982年）、もともと身近で忘れることのできない、広島や長崎の事実を思い起こすのに適した8月6日から15日までの10日間を「日本カトリック平和旬間」と決めました。



780万人の子供学校に行けない。

ミャンマーは1948年1月4日に独立しました。135の部族と約100の言語があります。2021年ミャンマーの人口は5337万人。軍政権は1962年〜2011年まで続いた。NLD国民民主連盟スーチーさんの政党は2015年〜2020年までミャンマーを支配しました。



再び、軍は2020年の総選挙に敗れ、ミャンマーを武力で統治した。デモで289人が命を失った。カインで7568回の戦争。ほぼ毎日、戦争が起こっている。全国で1万9944回の戦争が起こった。780万人の子供が学校に行けない。



平和と自由は全くありません。ミャンマーを助けてください。ミャンマーを救ってください。ミャンマーのために、祈ってください。ミャンマーの人々は心から感謝いたします。

ミャンマーの物価水準は日本の12分の1ぐらい。月収は3万円。これまでに94万円の寄付をしました。

松山カトリック教会 寅岡 恵

いまこそ平和を！平和旬間に合わせ、松山教会では、8月4日に道後教会と合同で平和のミサを捧げました。今年のテーマは、peace now「苦しむ人びとの声に耳を傾け応えよう」という事で、ジャ・レ神父様の祖国ミャンマーについて神父様からお話がありました。写真や画像を写しながら、名所や花、食べ物、文字などを紹介して下さり、過去から現在に至るまで、軍政権が続き、多くの人々が命を落とされていること、平和と自由が全くない中で、人々は助け、救いを求めている事を知りました。



教会で、皆様から集められた募金と修道院からの寄付金は、神父様を通してミャンマーに送られ、難民キャンプや学校のために使われています。寄付金によりロイカウのカレン州にシエナの聖カタリナスクールが開校しました。今年には189人の生徒さんがおられるそうです。

遠く離れたミャンマーに、同じ聖カタリナ学校があり困難な状況の中で生活し、学んでいる兄弟姉妹がいるのだと思うと、私たちにできることは何だろうか、と、より強く感じます。平和な単なる願望ではなく、具体的な行動が必要。ミサや共同祈願を捧げても、意味がわからないと、本当の意味がないという観点からも、ミャンマーのことを知ることができやことは、とても有意義な事でした。神に感謝。



## マルコ・トレ神父様からの手紙

心からご支援くださった方々、そして大きな手を差し伸べてくださった方々に感謝いたします。

特に、松山教会、道後教会、郡中礼拝堂、そして、日本のドミニコ会、特に、日本の聖ドミニコ宣教修道女会に感謝いたします。



校舎建設・学校の様子



ジャ・レ神父から送られた日本の教会・修道院からの寄付金は、主に難民キャンプとロイカウのシエナ・カタリナ・スクールのために使われます。

これは心からの援助であり、純粹な愛です。これは心からの援助であり、純粹な愛です。軍事クーデター以来、すべてが危機的状況に陥りました。革命に参加し、正義と平和のために戦った多くの人々や若者が亡くなりました。

私たち修道士は、ドミニコ会の家族の助けを借りて、皆さんが、私たちに与えてくださる愛を、私たちの国で最も困難な状況にある兄弟姉妹である友人たちに寄付し、分かち合うことができます。言うまでもなく、皆様の援助がなければ、私たちは生き延びることはできませんし、生きて行くことは困難ですが、皆様の寛大さと愛によって力を得ています。



教材・食料品の配布



本当にありがとうございます。

2022年は皆様からの寄付金で、電気用の発電機1台と蒸気機関の材料を購入しました。

難民キャンプでは、電気が使えないので、学校の試験や重要な書類の印刷、特別な時に使います。

2023年は、136袋の米と油、石鹼、塩を購入し、食べるものがなく困っている人たちに、特に市内で起きている戦争のためにジャングルに逃げた人々や高齢者に配りました。

その他、高校3年生用の教科書と教師用ガイドの購入にも使用しました。

今年、2024年は、ドミニコ会が運営しているロイカウのカレニ州にある、シエナの聖カタリナ学校を開校することができたのは、ピーター・ジャ・レ神父から送られた寄付金のおかげであることは言うまでもありません。

シエナの聖カタリナ学校は、皆様の素晴らしいご寄付と愛のおかげで3年間を終了し、現在も続いています。今年、2024年は、2月からの開校となります。夏の開校は本当に大変です。

水不足に加え、暑い日が続きます。竹と木と防水シートで作った仮設学校は、1、2年しか持ちませんでした。

今年、より良い新しい学校を建てなければなりません。

今回の寄付金のほとんどは、学校建設と新学期の開校式で新校舎を祝福するために使われます。

皆様のご協力のおかげで、新しい学校を建設することができました。

校舎は古くて狭く、生徒数も年々増加しているため、来年度に向けて2校を建設する必要があります。



ロイカウにあるシエナの聖カタリナ学校の難民キャンプには、今年189人生徒がいます。

ここでのドミニコ会の修道士とシスターの使命は、生徒たちに将来、より良い生活を与え、善良な人間に育てることです。ご存じのように、この国の状況は、政治的な問題のために、危機的です。

私たちは森に逃げ込み、ある場所から別の場所へ移動しようとしています。

今、私たちは安全な場所において、ジャングルの中、国内避難民(IDP)の仮設学校を始めたいと思います。

そのため、私たちは生徒や先生たちを助けるために、皆さんからの多くの支援を必要としています。最後に、皆様からのご寄付に感謝いたします。



9月15日

皆さん、こんにちは。  
 私の名前は、フランシス・ブ・リン神父です。  
 2024年9月11日に、カトリック福岡司教区より赴任しました。



ミャンマーのチン州出身の29歳。  
 2013年、高校を卒業してすぐに、ミャンマーのドミニコ会に入りました。  
 ロザリオの聖母マリア修道会のドミニコ会員になるため、海外へ修練に行く準備として、ミャンマーで数か月間、英語を勉強しました。  
 香港でノビティアと呼ばれる修練会を修了した後、私はマカオの修道院で5年間学びました。

2020年マカオにある聖ヨセフ大学を卒業。  
 ドミニコ会における厳粛な修練を終え、香港に戻り、助祭の聖職に叙階されました。

2021年、私は上司から日本の福岡ドミニコ会に赴任するよう命じられました。  
 そこで1年間、日本語の勉強を続け、小郡教会と鳥栖教会で1年半、副助祭としてお手伝いをしました。  
 2022年3月21日福岡・大名町教会で司祭叙階。



ブ・リン神父

2024年9月11日松山市三番町教区の担当司祭の補佐として、ドミニコ会三番町教会に来ました。司祭として、ふさわしくないと思うこともあります。が、召命を与えてくださった神様にいつも感謝しています。  
 ありがとうございます。

松山教会のほとんどの人が見たことがあって、知っていると思います。

私は、音楽とサッカーと様々な活動が好きです。そして、皆さんのお役に立ち、皆さんと共に笑っている人生を送りたいと願っています。まだ日本語で苦労しています。ですから、何でも教えてください、助けてください。

今からは、皆さんと一緒に生活することになります。弱い点がいっぱいあると思いますが、いい点もいっぱいあると思いますので、皆さんのお陰によって頑張ろうと思います。よろしくお願ひします。



「平和を失った国」 ブ・リン神父 福岡教区報より

平和を享受するには、一人ひとりが家族の中でも、友人の間でも、仕事の場でも、国と国の間でも、争いから遠ざかり、平和を保つ必要があります。

残念ながら多くの国々に戦争が起こって、国民の心は平和から遠ざかり、平和が失われてしまいました。平和という言葉が何を意味するのだろうかという問いかけた方がいいです。

ミャンマーは独立以来、ほぼ70年間にわたって軍によって統治されてきました。

歴史上、135の民族、ほぼ100の言葉、色々な文化と宗教、そして異なる原則が存在しています。

そのような中で、軍隊は国民が一つになるための力になるのではなく、逆にクーデターを数回起こして、軍に反する多くの人を殺しました。

老人や女性と子供たちは困難を抱えて森に隠れています。彼らは避難所、食料、毛布を必要としています。物価は急激に上昇し、多くの人々が貧困に陥っています。非常に苦しんでいます。しかし、国軍が存在する限り、革命は続きますので、いつミャンマーが平和になるか誰も分かりません。

このメッセージを読んだ方々は、平和を失っているミャンマーをはじめ、色々な国のために、平和の源である神の御子イエスに祈り続けてください、心からお願いいたします。

私も日本のために、様々な災害から守られ、必要な恵みが与えられるよう祈っております。



# 高齢者の祝福・集い

9月22日

9月22日のミサでは、75歳以上の高齢者のみなさんに「いやし」と「回復」の秘跡の一つである、

病者の塗油の秘跡が行われました。

70名と多くの方が、

ジャ・レ神父様とブ・リン神父様より

「塗油の秘跡」に授かりました。

ミサ後、「いっまでもお元気で」

前田万葉大司教様の俳句が詠まれた、

お菓子がプレゼントされました。



高齢者の祝福を祝う  
お菓子がプレゼント



塗油の秘跡



センターでは、敬老の集いが催されました。

松山教会評議会 田窪由紀子 議長あいさつ。

皆様がお元気でここに集まってくさ

ったこと、大変うれしく思います。

神様に感謝です。この松山教会を支え

て下さっている、先輩方へ、感謝する

と共にこれからも、もつと、お元気でいてくださる

よう、心を込めてみんなで準備いたしました。

待ちに待ったブ・リン神父様が、着任されました。



松山教会信徒一同、ブ・リン神父様を心より歓迎いたします。今日の敬老の集いもあり、二重のお祝い、喜びも倍になりました。



これからは、ブ・リン神父様・ジャ・レ神父様と信徒一同と共に、お互いの支えと心のきずなが一つになるようによりしくお願いいたします。

黙想会で来られているミャンマーのシスター方も参加して、歌をうたって、ゲームをして和みました。

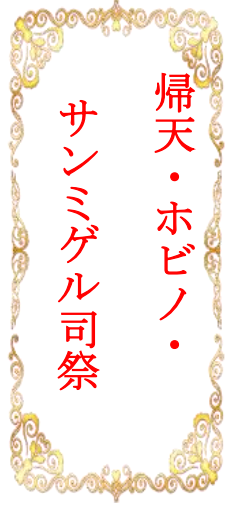


松山教会の皆様へ、お礼の手紙が届きました。

「私たちミャンマーのシスター達に、あたたかく迎えてくださり、おいしい食事やプレゼントありがとうございます。皆様との出会いを忘れずしています。一人ひとりの上に神様の豊かな祝福がありますように、お祈り致しております。」感謝を込めて。







# 帰天・ホビノ・サンミゲル司祭

7月5日

聖ドミニコ修道会ロザリオ管区司祭のホビノ・サンミゲル神父様が、7月3日(水)4時9分に愛媛県松山市のベテル病院で帰天されました。(享年82歳)でした。ホビノ神父様は日本において長い期間に亘り、宣教と教育に全てを捧げられた功績によって、神が天国において永眠の至福を与えて下さりました。



ホビノ・サンミゲル司祭

ホビノ・サンミゲル神父様  
1941年10月22日スペイン出生  
1967年7月9日アビラ市聖ドミニコ修道会  
聖トマス修道院にて司祭叙階  
1969年来日。  
東京聖ヨセフ修道院にて日本語習得  
1972年〜1977年  
上智大学大学院哲学研究科修士課程

1975年〜1987年  
愛媛県松山市愛光学園教諭  
1981年〜1987年  
愛媛県松山市愛光学園理事長就任。  
聖カタリナ女子短期大学講師を務める  
1987年〜2005年英知大学文学部助教



2004年〜2023年  
聖カタリナ大学・聖カタリナ  
大学短期大学部学長就任  
2012年〜2017年  
日本カトリック短期大学  
連盟会長就任

2014年〜2023年愛媛県ユニセフ協会会長  
2020年12月〜西宮修道院長就任  
2023年瑞宝中綬章受章  
2023年聖カタリナ大学キリスト教研究所長。  
聖カタリナ大学宗教主事  
2024年5月松山市祝谷ベテル病院にて療養  
2024年7月3日4時9分  
松山市祝谷ベテル病院にて帰天(享年82歳)



前田 万葉大司教

葬儀ミサを捧げた、前田 万葉大司教より

ホビノ神父様は、28歳ぐらいから、教育関係に携わっています。英知大学でも教鞭をとり、ユネスコ教育につながって業績を残しております。瑞宝中綬章も受賞しております。

高山右近の列聖について並々ならぬ、強い意志を持つておられました。

82年間の神父様のご功績は、神様への積み上げた捧げものとなって、宝物になって、天の父が喜んで受け入れて下さる事と思います。

このイエス・キリストへの並々ならぬ、信頼と言うものが、生涯を貫いて、あったと思います。

わたしは、柔和で謙遜なものだから、わたしに学びなさい、イエス・キリストの柔和と謙遜、を学び、それを貫いてきた、これはまさに、イエス・キリストと共に、十字架を背負ってきたことにもなります。

重荷を負うもの誰でも、私のところに来なさい。このようなことは神様の愛だと思えます。

この世にでも、病気の苦しみとか、いろんな苦勞もあつたでしょう。けれども、柔和で謙遜なイエス・キリストに学び、その生き方が、いろんな苦勞の中にも、安らぎを得られていたことと思えます。

わたしは道である、私は復活であり、命である、わたしを信じる者は、死んでも生きる。

永遠の命の復活を、私達は信じております。私たちのこの世のかかわりよりも、深く、力強く、天から、私たちのことを見守り問い詰めて下さると思えます。

もっともっと大きな、存在として、わたしたちに、大きな恵みを取り次いで下さると思えます。

もっともっと大きな、存在として、わたしたちに、大きな恵みを取り次いで下さると思えます。



# 夕涼み会&カラオケ会

8月24日(土曜日)

カトリック松山教会で夕涼み会が開かれました。  
今治教会のヨセフ神父様も参加し、国際色豊かな夕涼み会となりました。乾杯はヨセフ神父様。



今治教会・ヨセフ  
神父様の乾杯



子供たちもグループ熱唱



ヨセフ神父様の「酒よ」

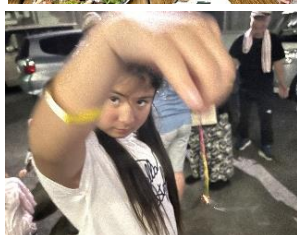


カラオケ大会で盛り上がりました。

夕涼み会には約60名が参加しました。



皆さん、和気あいあい



花火で夕涼み会を終えました。次回もお楽しみに！





# オアシス便り

## オアシス

皆さん、お待ちしております。  
清家 由美

オアシスがオープンして、今年の10月で4年になりました。  
この4年の間に、いろいろな方がオアシスに来てくださいました。



私が、子どもころから通っている松山教会ですが、「名前を知らない人」「顔と名前が一致しない人」「話をしたことのない人」など、まだまだたくさんいます。

若い頃の私は、ミサに与って帰るだけの信者でしたので、いろいろな方と知り合う機会もなかったとも言えます。

オアシスで当番をするようになって、今までほとんど会話をしたことのなかった方とも、親しくお話ができる機会が多くなりました。

まだ、オアシスに来たことのない人、ぜひコーヒー

を飲み、お菓子を食べに、おしゃべりをし、ストレスを発散しに来てください。  
お待ちしております。

私は、オアシスも教会の大事な一部だと思っています。

教会中の皆さんに来ていただきたいです。

一度のぞいてくださると嬉しいです。

オアシスは、狭かったり、椅子が座りにくかったり、ということもありますが、談話室にもお飲み物をお運びすることができます。

「教会の人も」「求道者も」「通りがかりの人も」

「ご近所さんも」「旅行の人も」いろいろな人が、気兼ねなく立ち寄れる場所になることを願っています。

### 「オアシスが開いている日時」

火・水曜日

午前10時から16時

木曜日 午前12時から16時

金曜日 午前11時から16時

日曜日 午前11時から13時

月・土曜日・お休み



みなさん「オアシス」によろこ

オアシスに馬小屋を飾ろうと思います。

ご家庭に、寄付していただける馬小屋があれば長井までご連絡ください。

# お知らせ

教会維持費ですが、ゆうちょ銀行への振り込みが可能です。

## 音響設備・新しいアンプ購入

聖堂の後ろ側に新しくスピーカーを設置しました。神父様のお話がよく聞こえるようになりました。教会のセンターにも新しくアンプを設置、音響効果が良くなりました。



新しい音響設備購入



### ●帰天者（9月現在）

- クリスティーナ 幡 節代さん 76
- マリア・アンナ 佐藤好恵さん 91
- マリナ 竹田 操さん 87
- ヨゼフ・ローザ 笹木章二さん 82
- アウグスチヌス 福井 武さん 84
- 転出者 ドミニコ・嶋崎浩樹さん
- 転入者 札幌教区 千歳教会  
マリア・ローザ大野千瑞さん

教会維持費の振込先：ゆうちょ銀行

口座名：カトリック聖ドミニコ修道会イエズスの聖心教会

記号：16160 番号：26197851